

事業番号 2021 - 復興 - 20 - 0148

令和3年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	航路標識事業			担当部局	復興庁		作成責任者		
事業開始年度	平成25年度	事業終了 (予定)年度	令和2年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 伊地知 英己		
会計区分	東日本大震災復興特別会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	海上保安庁法第5条第1項第10号、第24号 航路標識法第2条			関係する 計画、通知等	-				
主要政策・施策	海洋政策			主要経費	公共事業				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	当事業は、海上の安全の確保を図るために行う東日本大震災における被災航路標識の復旧を目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	東日本大震災において被災した航路標識のうち、防波堤の復旧見込が立たず早期に施工が完了できなかった防波堤灯台等の復旧を行う。								
実施方法	直接実施								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	124	0	19	0	0		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	120	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	▲ 120	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		4	120	19	0	0		
	執行額		4	0	11	-		-	
執行率 (%)		100%	0%	58%	-		-		
当初予算+補正予算に対す る執行額の割合 (%)		3%	-	58%	-		-		
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
			0	0	-				
	その他		0	0					
	計		0	0					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度
	我が国周辺で発生する船 舶事故隻数を令和2年度ま でに少なくとも2,000隻未 満とする。	海難隻数	成果実績	隻	2,178	2,053	1,954	-	-
			目標値	隻	2,000	2,000	2,000	-	2,000
			達成度	%	91.8	97.4	102.3	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	海上保安庁ホームページ「海の事故情報(令和2年海難の現況と対策)」 < https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/keihatsu/20210630_state_measure01.pdf >								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度
	令和2年度までに、被災し た152基の航路標識の復旧 を完了させる。	被災標識復旧	成果実績	基	149	151	152	-	152
			目標値	基	152	152	152	-	152
			達成度	%	98	99	100	-	100
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	航路標識災害復旧リスト								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	活動実績	当初見込み						
航路標識の復旧基数	活動実績	基	基	0	2	1	-	-
	当初見込み	基	基	2	2	1	-	-
単位当たり コスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	X(各年度の執行額)／Y(各年度の実施箇所数)	単位当たり コスト					百万円	4
		計算式	X/Y	4/1	0/2	11/1	-	

事業所管部局による点検・改善

国 費 投 入 の 必 要 性	項 目	評 価	評価に関する説明
	国 費 投 入 の 必 要 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	人命及び財産の保護に資するための事業であることから、国が実施する必要がある。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	人命及び財産の保護に資するための事業であることから、優先度は高い。
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	入札参加資格の要件拡大等を図り、競争性を高めるよう努めている。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	灯台の現状復旧のみに使用しているもので、妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	灯台の現状復旧のみに使用しているもので、必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
事 業 の 有 効 性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	復旧方法等を検討し、効率的な事業の実施に努めている。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	復旧計画を策定のうえ、適切に遂行しており、航行船舶の安全確保に十分寄与している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	復旧方法等を検討し、効果的な事業の実施に努めている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	復旧計画を策定のうえ、適切に遂行しており、航行船舶の安全確保に十分寄与している。
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	成果目標を達成し、予定通り令和2年度を以って事業終了。	
	改善の方向性	成果目標を達成し、予定通り令和2年度を以って事業終了。	

外部有識者の所見

対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定	令和2年度で終了した事業である。
------	------------------

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予定通り	令和2年度で終了した事業である。
------	------------------

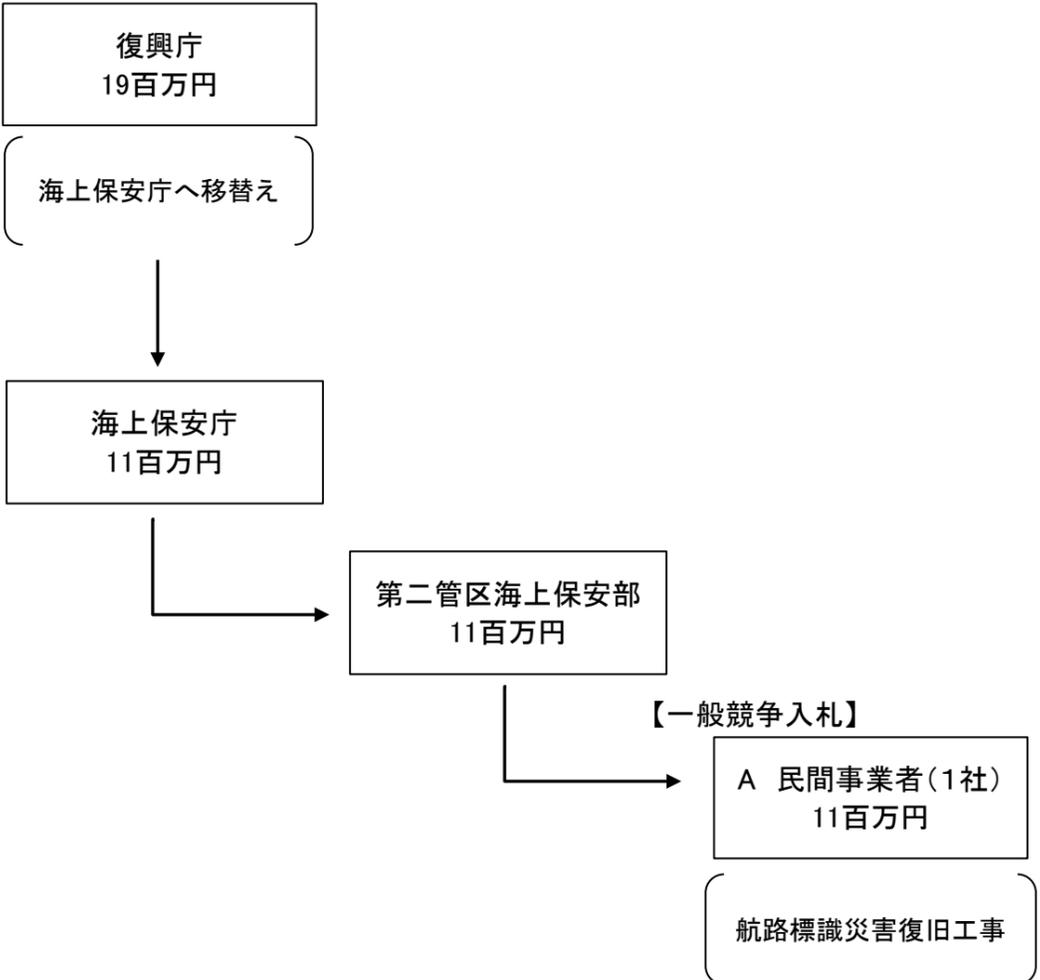
備考

-

関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成22年度	-	-	-	-
平成23年度	-	-	-	-
平成24年度	24	-	-	-
平成25年度	25-049	-	-	-
平成26年度	25-205	-	-	-
平成27年度	26-0205	-	-	-
平成28年度	27-0200	-	-	-
平成29年度	28-0163	-	-	-
平成30年度	29-0151	-	-	-
令和元年度	復興庁 - 0152			
令和2年度	復興庁 - 0149			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.株式会社鈴木工務店			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
工事費	石巻港東防波堤灯台災害復旧工事	11			
計		11	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社鈴木工務店	3370601000425	石巻港東防波堤灯台災害復旧工事	11	一般競争契約 (最低価格)	1	92%	-